



守山市 記者提供 資料

担当部署

もりやま食のまちづくりプロジェクト

地産地消・食育推進チーム

(事務局：守山市農政課)

担当者 阿迦井

電話 077-582-1130

FAX 077-582-6947

新たなブランド野菜 “もりやまパール野菜”

趣旨・目的

異常気象等により、農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

こうした現状の改善を図るための取り組みとして、農産物の新たな地域ブランドを確立させ、他産地との差別化を図ることで農家所得向上につなげます。

内容

これまでほとんど利用せずに廃棄していた琵琶湖の真珠貝を、焼却灰にして畑の土に活用するSDGs 実現するための取り組みです。びわ湖パールとのコラボ野菜を通じてより多くの人が地元の特産物やびわ湖の環境についてきっかけになればと願っています。

栽培品目

ブロッコリー、キャベツ、にんじん、小松菜、青ネギ、いちご

※取組生産者（14軒）令和 6 年1月現在

今年度の出荷予定

- ・学校給食【1月、2月】
- ・もりやまいち市内中学生商い体験に採用
- ・直売所、量販店での販売
- ・もりやまパールいちごカーニバル開催

【1月21日(日)午前10時～午後2時 会場:MAGNETS(守山市今宿四丁目1-12-101)】

もりやまパール野菜取組み経過

令和3年度：新たなブランド開発として、地域資源をテーマに検討し「真珠貝の貝殻」に注目し試験栽培を開始。

★市内で真珠貝の貝殻が大量にある（牡蠣殻の肥料に代用できないか）

○淡水真珠の貝殻なので「塩害」の心配がない。

×貝殻のままだと圃場に分解されるまで時間がかかる。

試験栽培：小松菜



処理前



粉碎処理

令和4年度：貝殻を焼却灰にして圃場に散布する。

試験栽培（水田圃場）：キャベツ、ブロッコリー、じゃがいも
学校給食に出荷



燃焼灰

令和5年度：生産者、生産品目拡大
滋賀県特殊肥料に登録

一般向け販売開始（量販店、直売所）

生産品目：キャベツ、ブロッコリー、にんじん
小松菜、ほうれん草、青ネギ、いちご



もりやまいち（令和5年12月17日 初販売）

今後の計画：生産・販売体制の確立により新たな販路拡大を図る。

もりやま食のまちづくりプロジェクト

設立 : 平成25年 5月21日

活動内容 : 守山市で生産されている農水産物や加工品などの地域特産物を紹介するだけでなく、農業や漁業に携わる生産者との交流、守山市の歴史・観光・商業など様々な視点から「食」をテーマにした守山市の地域資源をPRします。

発起人 : J Aレーク滋賀、守山商工会議所、立命館大学、守山市

主な委員 : 農水産業従事者、商工事業者、子育て支援団体
栄養士、観光事業者、大学関係者

推進チーム : 地産地消・食育推進チーム
6次産業化推進チーム
地域ブランド開発推進チーム

事務局 : 守山市役所 農政課内

